

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## 琉球諸語を対象とした稀少な音声の記述

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-06-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 青井, 隼人 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00003392">https://doi.org/10.15084/00003392</a>

2018.12.22 国立国語研究所オープンハウス

## 琉球諸語を対象とした稀少な音声の記述

言語変異研究領域特任助教 青井隼人 Aoi, Hayato

## 1 どのような研究か？

## 何を明らかにするのか？ 音韻類型論の目的

- \* 言語音の**多様性**を理解する
  - \* どのような言語音が可能なのか？
  - \* どのような言語音が観察されうるのか？
  - \* 論理的にはありうるはずの音が、実際には観察されない (or 極端に珍しい) のはなぜか？
- \* ありふれた特徴から**稀少な特徴**まで
  - \* なぜ珍しいのか？
  - \* どのようにして発達したのか？
  - \* なぜ特定の言語にしか見られないのか？

## どんな方法で研究するのか？ 類型論的アプローチ

1. 集めたサンプルを**分類**する
2. 分類を**抽象化・一般化**する
3. 一般化を**説明**する

Croft, William (2003) *Typology and Universals*, 2nd edition, Cambridge University Press.

## 伝統的な類型論の問題点 大量サンプル基盤の限界

- \* 系統や地域に偏りないサンプル抽出

- ✓ 多様性の大きな把握
- ✗ 系統・地域内の**ミクロな変異**や**中間的なタイプ**
- ✗ 特定の系統や地域に偏在する**稀少な特徴**

## 克服するための新しい類型論的アプローチ 系統内的類型論

Daniel, Michael (2011) *Linguistic typology and the study of language*, Jae Jung Song (ed.) *The Oxford Handbook of Linguistic Typology*, Oxford University Press, 43-68.

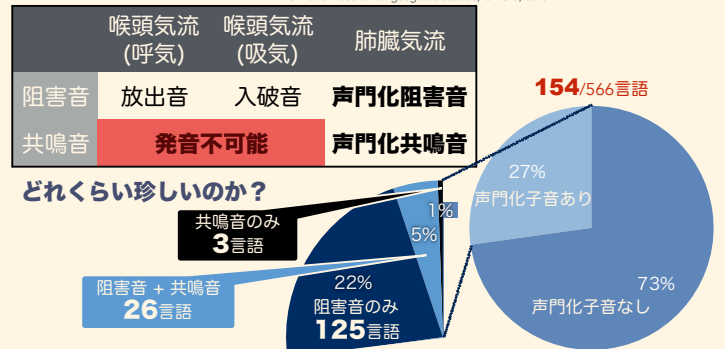
## 2 琉球諸語の稀少な音声の例 一声門化子音一

## 声門化子音とは？

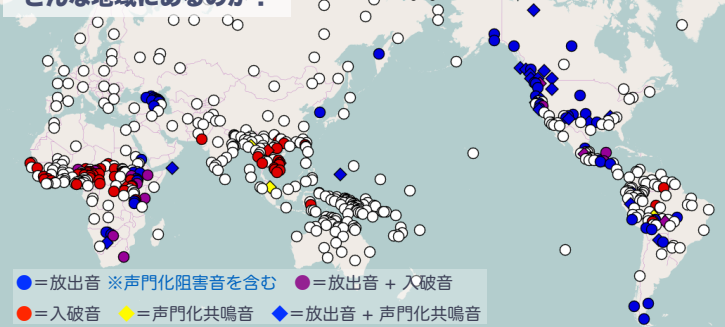
- \* 口腔内の閉鎖 (or 狭め) に加えて、声門での閉鎖 (or 狭め) を伴う子音
- \* **喉頭化子音**とも呼ばれる
- \* 琉球では**破裂音・破擦音**や**鼻音・半母音**などの音類に見られる

上村幸雄 (1993) 「琉球列島諸方言における喉頭化をめぐる子音の音韻的対立の諸相」『「日本語音声」琉球列島研究成果報告書 琉球列島における音声の収集と研究 I』, 14-26, etc.

## どんな種類があるのか？

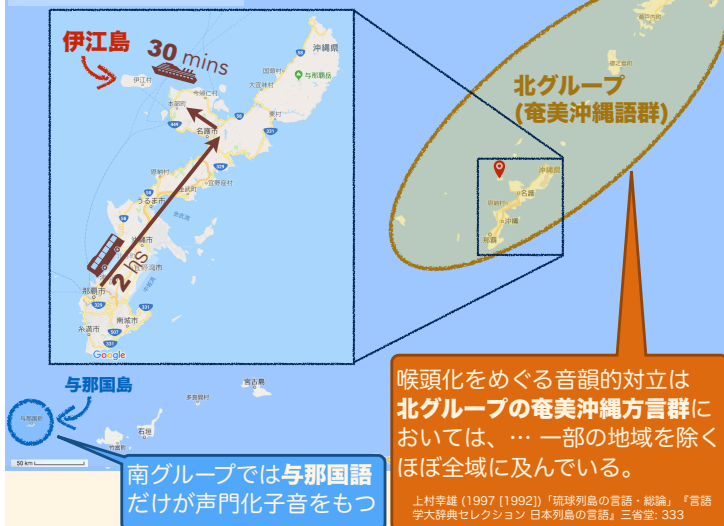
Cf. Maddieson, Ian (2005) *Glottalized consonants*, In Haspelmath et al. (eds.) *The World Atlas of Language Structures*, Oxford, 33-34.

## どんな地域にあるのか？

Cf. *World Atlas of Language Structures* (<http://wals.info/feature/7A82/19.3/152.9>)

## 3 沖縄語伊江方言の調査

## 声門化子音の分布



喉頭化をめぐる音韻的対立は北グループの奄美沖縄方言群においては、…一部の地域を除くほぼ全域に及んでいる。

上村幸雄 (1997 [1992]) 「琉球列島の言語・総論」『言語学大辞典セクション 日本列島の言語』三省堂: 333

## 沖縄語伊江方言の子音目録

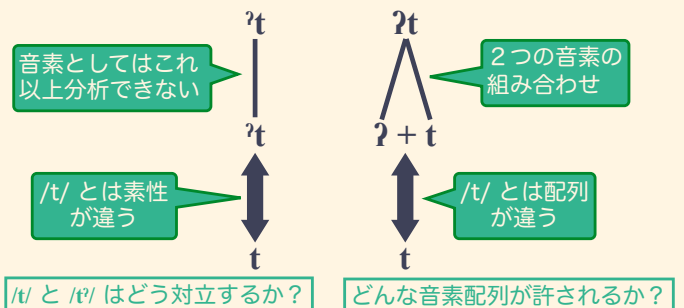
Cf. 生嶋睦子 (2009) 「新版 沖縄伊江島方言辞典」伊江村教育委員会

	両唇	歯茎	硬口蓋	軟口蓋
破裂音	<sup>ʔ</sup> p p b <sup>ʔ</sup> t t d <sup>ʔ</sup> k k g			
破擦音		<sup>ʔ</sup> c c z <sup>ʔ</sup> cj cj zj		
摩擦音		s	sj	h
鼻音	<sup>ʔ</sup> m m <sup>ʔ</sup> n n			
流音		<sup>ʔ</sup> r r		

声門化子音が北グループの中でもっとも豊富にある

## 声門化子音をめぐる問題① どのように解釈できるか？

- \* 1音素 /t<sup>ʔ</sup>n/ or 2音素 /t<sup>ʔ</sup> n/ ?



## 声門化子音をめぐる問題② どのような音声なのか？

- \* 声門の状態 閉鎖 ~ 狭め (きしみ声)
- \* 声門閉鎖のタイミング 口腔内閉鎖より先行 or 後続 or 同時？
- \* 後続する母音への影響 ピッチ、声質、など
- \* 喉頭の上げ下げの有無 放出音？ 入破音？ 上げ下げなし？

Ladefoged, Peter and Ian Maddieson (1996) *The Sounds of the World's Languages*, Blackwell.Maddieson (1984) *Glottalic and laryngealized consonants*, *Patterns of Sounds*, Cambridge University Press, 98-122.

## 声門化子音をめぐる問題③ 音類によって同じか？ 違うか？

